北海道今金高等養護学校
後援会だより
第５１号
令和５年　２月１６日
後援会事務局

「変革の時期に」

今金町教育委員会教育長　　中　山　秀　悦

新年を迎えました。コロナの沈静化、そしてウクライナなど国際情勢の解決。全世界が期待する明るく穏やかな年となることを願うばかりです。

改修が進む校舎が寒昇の自宅から見えます。２年をかけての工事ということで、教職員の皆さまや生徒さんはちょっと落ち着かない環境と思いますが、完成を心待ちに、穏やかな学校経営、運営、学校生活を送っていただければと考えております。

この３年間で人々の気持ちの中にのしかかった新型コロナの重苦しさは、入学希望者の心情にも少なからず影響を与えてきたと思います。これまでメリットであった寄宿舎生活が日常的にマスクを離せない環境で不自由さや不安を感じさせたり、個人空間を重視する移住環境への思いに結びついたりしたかもしれません。

開校から２７年目を迎えようとしている今金高等養護学校。ずっと身近にふれあってきた今養は、生徒の皆さんの活躍だけでなく、清掃活動など町内会にも積極的に参加される先生方、そして開放してくださる学習環境など、今金町になくてはならない存在です。

学校を取り巻く状況は義務校を含め、主体的でDXに対応していく学びが求められる変革の只中にあります。この３年間、コロナ対応で学校紹介にも苦慮されたと思いますが、これからは道南圏域の貴重な専門教育機関として、また規律正しい生活や共同生活の良さが卒後、就業してからも活きていくという強み、今養の魅力を大いにアピールできると思います。町教委としても、何か今養にできることがございましたらという気持ちでおります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「感謝と責任」

北海道今金高等養護学校長　　飯　出　広　行

新年を迎え、冬本番の季節となりました。冬化粧の狩場山や今金大地、そして後志利別川を臨み、改めて今金町の豊かな自然を感じずにはいられません。

令和４年度の本校の教育活動に関しまして、会長の小川様、副会長の瀧澤様、天井様、小田島様をはじめとする会員の皆様の御理解と御協力、御支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。４月の着任の際にも話しましたが、今金町全戸の方が本校の後援会の目的に賛同し会員になっていただいていることに改めて驚きを覚えました。これも、顧問の外崎町長、中山教育長が自ら先頭に立ち、方向性をお示しいただいていること、町教委が全面的に御協力いただいていること等々、本校の教育活動の発展と充実のために御尽力いただいている賜物と、感謝の念に堪えません。変わらぬ御支援に感謝するとともに、責任の重さを日々感じているところです。

さて、令和４年度の後援会総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面決議とさせていただきました。決議された「事業計画」、「予算」に則り、教育活動に還元させていただきました。特に、事業費として、全国障害者スポーツ大会や北海道障がい者スポーツ大会、北海道高等養護学校サッカー大会等々の対外試合参加補助、学校行事補助に、また、職業教育振興費として、販売会や実習時交通費補助に、大切に使わせていただきました。

生徒たちにとっては、このような対外試合や販売会などは貴重な機会となります。人とのかかわりを通して、協調性やコミュニケーション能力を育み、卒業後（就労）の社会的・職業的自立につなげていきます。本校のミッションである「地域に根ざした学校教育の創造～共学・共創・共生」の精神をまさに体現する教育活動の一つとなっています。引き続き、地域の方々との連携協力のもと、有意義な教育活動の実践に努めてまいります。

結びになりますが、変わらぬ御支援に感謝し、更に発展させていくべく新たな価値を創造し、会員及び地域の方々の期待と信頼に応える魅力ある学校づくりに全教職員一丸となり努めてまいります。引き続き、会員及び地域の方々の御理解と御協力、御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

＜学校行事・各種大会等報告＞

「同心協力　57人の力で団結する～学校祭を謳歌しよう～」

教諭　　中　川　千　波

12月2日（金）～12月3日（土）の2日間、令和4年度学校祭を行いました。学校祭1部の舞台発表では、生徒達が一生懸命練習してきた成果を精一杯発揮し迫力のある演技を披露してくれました。音楽発表では、学年ごとに歌とテーマを決めてミュージックビデオを撮影しました。何度も話し合いを繰り返してこだわったり、どのような演出にするか仲間と協力したりして創り上げることができました。

また、学校祭2部の生産品販売会では、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で保護者のみの販売会でしたが、生徒達がこの日のために作った素敵な製品や仕入れ商品販売などを販売しました。丁寧な挨拶や接客で対応することができました。

「陸上部　北海道障がい者スポーツ大会」

教諭　　和　田　繁　夫

暑い中での大会となりましたが、全力を出し切ることができました。2人とも陸上の大会に参加することが初めてで、競技開始前はかなり緊張していましたが、直前になると落ち着いて競技に取り組むことができました。結果として船登がメダルをいただくことができ、今後の活動の励みなりました。島田は惜しくも入賞は逃しましたが、緊張しながらも陸上競技の大会を楽しむことができました。

第60回北海道障がい者スポーツ大会（陸上競技）

（令和4年6月19日　網走市営陸上競技場）

船登翔真（ジャベリックスロー参加）
記録　　２３ｍ１４ｃｍ
島田遼雅（100m競技参加）
記録　　１３秒６２

「陸上部　第52回道南秋季陸上競技大会
第30回北海道陸上競技フェスティバル」

教諭　和田繁夫

シーズン最後の陸上競技大会でしたが、障がい者スポーツ大会で参加したジャベリックスローの経験を活かして、やり投げに参加しました。約１か月間、放課後に残り練習を積みました。高校生だけでなく大学生、社会人も参加する大会でしたが、臆することなく競技に取り組みました。結果は１８位でしたが自分に自信がつき、今後の部活動に対して前向きに考えられるようになりました。

第52回道南秋季陸上競技大会
第30回北海道陸上競技フェスティバル
（令和４年10月２日　函館市千代台公園陸上競技場）
船登翔真（男子やり投げ参加）
記録　１８ｍ７７ｃｍ

「スポーツ部　大会を終えて」

教諭　佐野涼司

およそ３年ぶりに各種大会が開催され、コロナ禍の中ではありますが、参加して参りました。生徒達は初めての大会参加ということもあり、学校のグラウンドよりも大きなピッチに驚きながらも、全力でプレーしました。新篠津村で開催された「北海道高等養護学校サッカー大会」では、悲願の初勝利をすることができました。すでに次年度も複数の大会が予定されております。引き続き御支援をよろしくお願い申し上げます。

①第22回全国障害者スポーツ大会サッカー競技　北海道・東北ブロック予選
（令和４年６月１１日～12日　新青森県総合運動公園）

第１試合：vs秋田県代表（×０-15）
第２試合：vs青森県代表（△１－１）

②第12回北海道高等養護学校サッカー大会
（令和４年７月10日　新篠津運動公園サッカー場）

第１試合：vs札幌市立みなみの杜・豊明高等支援学校（×０－２）
第２試合：vs白樺高等養護学校（○３－０）
第３試合：vs小樽高等支援学校（△１－１）
３・４位決定戦：vsあいの里高等支援学校（×０－２）

③第６回小野寺眞悟杯特別支援学校フットサル大会
（令和４年７月29日北海道立野幌総合運動公園　体育館）

第１試合：vs千歳高等支援学校（×１－３）
第２試合：vs中札内高等養護学校（×０－５）
第３試合：vs札幌市立豊明高等支援学校（×０－４）

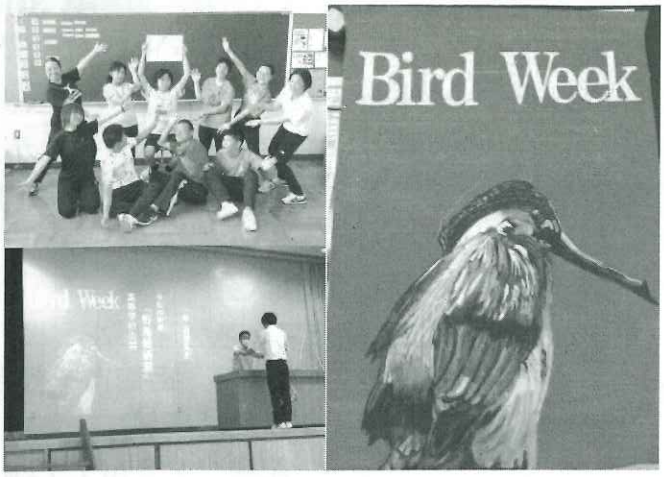
④第３回　道南カップスポーツ交流大会
（令和５年１月14日　北海道函館高等支援学校）

学校対抗バスケットボール
第１試合：vs北斗高等支援学校（○６－２）
第２試合：vs函館高等支援学校（×４-10）
学校対抗バドミントン
第１試合：vs函館高等支援学校Ｂ（×２－３）
第２試合：vs北斗高等支援学校（×１－４）

「令和４年度野鳥絵画展　高等学校の部　銅賞」

北海道が主催するコンクール、野鳥絵画展が行われました。愛鳥週間をテーマに小中高合わせて300点以上の作品の中から、本校の生徒の作品が選ばれました。

銅賞　家庭総合科１年　吉田　庵史



「作品について」

鳥が今にも飛びそうな様子が伝わるように工夫しました。また、青い羽根の色をあざやかに出して、羽の流れを意識して描きました。

＜事務部より＞

北海道今金高等養護学校後援会　令和４年度会計中間決算報告書

第２号議案

1　一般会計の部

【収入の部】

科目	当初予算額 A	補正予算額 B	補正後予算額 C(A+B)	収入済 D	今後見込額 E	決算額 F(D+E)	対予算増減 金額(F-C)	対予算増減 比率(F/C)	摘要
繰越金	683,307	0	683,307	683,307	0	683,307	0	100.00%	前年度繰越金
会費	645,500	0	645,500	614,200	0	614,200	△ 31,300	95.15%	
町内会	213,500	0	213,500	216,200	0	216,200	2,700	101.26%	@100円 × 2,162戸（12月末現在）
協賛企業・団体	276,000		276,000	246,000	0	246,000	△ 30,000	89.13%	@6,000円 ×延41口
個人	156,000		156,000	152,000	0	152,000	△ 4,000	97.44%	今金町役場　91口、今金高等養護学校　56口 その他個人　5口
補助金	500,000	0	500,000	500,000	0	500,000	0	100.00%	今金町運営事業補助金
雑収入	10	0	10	16,655	5	16,660	16,650	166600.00%	預金利息、返金剰余金、御祝儀
合計	1,828,817	0	1,828,817	1,814,162	5	1,814,167	△ 14,650	99.20%	

【支出の部】

科目	当初予算額 A	補正予算額 B	補正後予算額 C(A+B)	支出済 D	今後見込額 E	決算額 F(D+E)	対予算増減 金額(F-C)	対予算増減 比率(F/C)	摘要
事業費	500,000	0	500,000	438,750	61,250	500,000	0	100.00%	学校行事補助、部活動用品購入、対外試合等参加補助（今金町の補助金を充当）
事務運営費	50,000	0	50,000	18,911	31,089	50,000	0	100.00%	切手代、その他消耗品購入等
職業教育振興費	300,000	0	300,000	0	300,000	300,000	0	100.00%	販売会・加工体験学習経費、実習時交通費補助、部活動用品購入等
調査広報活動費	250,000	0	250,000	35,640	36,000	71,640	△ 178,360	28.66%	調査研究、広報誌発行経費、販売会等宣伝経費等
厚生対策費	600,000	0	600,000	8,530	300,000	308,530	△ 291,470	51.42%	防災危機管理関係物品購入、感染予防対策物品購入、環境整備経費等
予備費	128,817	0	128,817	0	0	0	△ 128,817	0.00%	
合計	1,828,817	0	1,828,817	501,831	728,339	1,230,170	△ 598,647	67.27%	

【収支対照】

項目	確定額	今後見込額	決算額	摘要
収入総額	1,814,162	5	1,814,167	
支出総額	501,831	728,339	1,230,170	
差引残額	1,312,331	△ 728,334	583,997	次年度に繰越し

2　金融機関預金状況

金融機関名	口座番号等	預金現在額	摘要
北海道銀行今金支店	普通　０５０６８９３	1,312,331	
渡島信用金庫新せたな支店	普通　０９７４７９０	0	
今金町農業協同組合本所	普通　１０９３０３８	0	
合計		1,312,331	